

# はじめに

中国学科 吉池 孝一

高等言語教育研究所が設立されて本年度で 5 年目になる。本研究所の年報『ことばの世界』も 5 号を発行するはこびとなった。本号には、論文(7 編)、資料(1 編)、研究フォーラム(1 編)、本研究所の活動報告を掲載した。原稿をお寄せくださった皆様には感謝申しあげたい。

さて平成 24 年度、高等言語教育研究所は以下の活動・事業をおこなった。ここでは本年度より始めた事業を中心に紹介をする。より詳しくは本号の活動報告をご覧ください。

- 1 公開講演会の開催
- 2 言語教育研究会の開催
- 3 多言語競演レシテーション大会の開催
- 4 外国語多読用図書の実充
- 5 英語・スペイン語多読活動の推進
- 6 CALL 教室を利用した外国語自主学習支援
- 7 外国語授業改善研修会の開催
- 8 『ことばの世界』5 号の発行
- 9 学生自主学習支援
- 10 言語資料の展示

上記第 3 番目の「多言語競演レシテーション大会の開催」に関連して、昨年度と同様に、オープンキャンパスの際に昨年度の多言語競演レシテーション大会の受賞者に実演をしてもらい好評を博した。この「多言語競演レシテーション大会の開催」については年度初頭の運営会議において話し合いがもたれ、今後は学生の係わる部分を増やしていくこととなり本年度より実行に移された。第 4 番目の「外国語多読用図書の実充」であるが、歴代の研究所長および運営委員の尽力により、その実充には眼を見張るものがある。本年の洋書の貸し出しの内 74%を多読図書が占めるという。これまで多読図書は本学図書館 2 階の一角に設置されていたわけであるが、多読図書の増加にともない移設することとなった。図書館の計らいにより学生が利用しやすい位置への移設となった。図書館職員の皆様には感謝を申しあげたい。なお多読図書の実充の一環として、研究所運営委員より提案があり、本年より日本の漫画を各国語に翻訳した書籍を言語研究資料として購入することとした。今後もこの方面の資料の実充をはかっていく予定である。第 9 番目の「学生自主学習支援」も運営委員の提案があり本年度より始めた事業となる。学生が自主的に開催する言語の勉強会および研究会について支援するものであり、現在 3 つのグループが活動をしている。これは試みとして始めたものであるが今後更なる実充をはかっていきたい。第 10 番目の「言語資料の展示」について、本年は年間をとおして E510 研究室にて「世界のあいうえお表」と題し世界各国の絵入り大型文字表と文字練習帳の展示をおこなった。8 月のオープンキャンパスの折にはこの展示を拡充して「世界の文字—古代エジプト文字から現代諸国の“アルファベット表”まで」という特別言語資料展をおこな

い、多くの受験生のみなさんに参観いただいた。また 25 年 1 月から 2 月にかけて、本研究所(学務課松崎氏の尽力による)と図書館の共催で図書館 2 階にて「世界のまんが展」(日本漫画を各国語に翻訳したものの展示)を開催することができた。以上簡単ではあるが本年度より始めた事業を中心に紹介をさせていただいた。

なお本年報末尾には、研究所ウェブサイトにある『ことばの世界』執筆要項を転載した。執筆を希望される方は参考にしていただきたい。

#### 平成 24 年度 研究所会議構成員

研究所長	吉池孝一
外国語学部長	堀 一郎
教育研究審議会委員	広瀬恵子
英語教育部門	宮浦国江
日本語教育部門	東 弘子
CALL/ICT 部門	大森裕實

#### 担当及び運営会議構成員(運営委員)

所長代理	松尾誠之
研究会・講演会	江澤照美
レシテーション大会	石原 覚
レシテーション大会	中西千香
『ことばの世界』編集	長沼圭一
『ことばの世界』編集	福岡千珠
学生自主学习支援	福岡千珠
展示	吉池孝一